

~ Serendipity ~ vol.7

2017(平成29)年6月7日(水)

鎌田中学校 生徒指導“通心” 大西 恵

【テストの後】

中間テストの出来はどうでしたか？結果が返って来ていなくても、ある程度目標を達成できたのか、そうでなかったのかは自分自身で分かりますよね。「ああ～やれやれ、やっと終わったあ～」、とホッと一息…、となっている人、多くないですか？君たち危ないですよ!! その一方で、「全然ダメやあ～」、「まるでできやんだあ～」とへこんでいる人もいますね。君たちには、目の前に大きなチャンスが転がっています!!
本当に自分の勉強のレベルを上げたいなら、“今!!” テスト直後の過ごし方、復習が重要です。
なぜ、塾が宣伝のチラシを持ってくるのか？同じ理由です(笑)。



思い出す(振り返り)

「全然ダメやあ～」、「まるでできやんだあ～」という人。あなたたちは、テスト範囲を見て、計画を立てて、しっかり勉強してテストに臨んだはず。しかし結局は勉強が不十分で、まだまだ自分に実力が備わっていないことを実感したから、つまり素直に反省ができたからこそ、その言葉が出たんですよね？

これまで、テストが終わって、「ああ～やれやれ」、「終わった、終わった」とホッとしていた時には、自分が出来なかったことなど気にもしなかったところか、時間が経つにつれ、テストが何となく“解けた”気になっていませんか？

人間というのは、嫌なことの前に悪いことを想像し悲観的になり、終わると解放感から楽観的になりやすいものです。しかし、テストはその逆でなければいけません。テスト前は、「あれだけやったんだから大丈夫」と楽観的に、テスト後は「完璧に解くことが出来なかった」と悲観的に考えた方が、よりレベルが上がり、復習への気持ちが高まります。真剣に取り組んでいた人ほど、自分のミスが気になるものですし、そう感じられる人は、もう成長への歩みが始まっていますよ!!

① 鉄は熱いうちに打て

気持ちが盛り上がったところで、テストの復習をしましょう。危機感があるうちに対策を講じれば、より高い効果が得られます。テストが返って来ていない今こそ、問題を思い出し、答えを考え調べると、問題を作った先生方の思い(君たちに付けてもらいたい力)を感じることができます。



テストとは問題作成者との『対話』です。問題に秘められた先生方の『意図』を読み取りましょう!!

② 時間より回数

学習効果を上げるには、勉強時間を長くするよりも、復習の回数を増やすことが大切です。テスト返却まで復習しないのと、今日から取りかかるのでは、当然回数が異なり、記憶のレベル、思い出すレベルに差が出ます。

生徒指導“通心” vol.4「勉強について」をもう一度読んで、勉強計画を立て直してみましょう。

人間の記憶のメカニズムは、また紹介します。

③ 感情が記憶を深める



好きな曲はすぐリズムを覚え、歌詞を口ずさんでいますよね。好きな漫画を見ていたり、ゲームをしていると、時間が過ぎるのはあっという間ですね。人間は感情がプラスされると集中力が増し、記憶が定着しやすいものです。また、“楽しい”や“嬉しい”というプラスの感情だけではなく、“悔しい”や“恥ずかしい”といったマイナスの感情であっても、記憶をより深めます。

「そっかあ～」、「なるほど」、「そうきたかあ～」等々、わざと感情を声に出しながら勉強している人、実は世の中に結構いますよ!!

ね、野〇先生(笑)!!



今日、クラブがないのはラッキー!!
さあ、チャンスをつかんで、大きく成長しよう!!

飛躍